



Red Hat build of OpenJDK 21

コンテナでの Red Hat build of OpenJDK 21 アプリケーションのパッケージ化

Red Hat build of OpenJDK 21 コンテナでの Red Hat build of OpenJDK 21 アプリケーションのパッケージ化

法律上の通知

Copyright © 2024 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

Red Hat build of OpenJDK は、Red Hat Enterprise Linux プラットフォーム上の Red Hat 製品です。コンテナでの Red Hat build of OpenJDK 21 アプリケーションのパッケージ化 ガイドでは、この製品の概要と、コンテナでアプリケーションをパッケージ化する方法を説明します。

目次

RED HAT BUILD OF OPENJDK ドキュメントへのフィードバック	3
多様性を受け入れるオープンソースの強化	4
第1章 コンテナの RED HAT BUILD OF OPENJDK アプリケーション	5
第2章 コンテナでの RED HAT BUILD OF OPENJDK アプリケーションのデプロイ	6
第3章 RED HAT BUILD OF OPENJDK コンテナイメージの更新	7

RED HAT BUILD OF OPENJDK ドキュメントへのフィードバック

エラーを報告したり、ドキュメントを改善したりするには、Red Hat Jira アカウントにログインし、課題を送信してください。Red Hat Jira アカウントをお持ちでない場合は、アカウントを作成するように求められます。

手順

1. 次のリンクをクリックして [チケットを作成します](#)。
2. **Summary** に課題の簡単な説明を入力します。
3. **Description** に課題や機能拡張の詳細な説明を入力します。問題があるドキュメントのセクションへの URL を含めてください。
4. **Submit** をクリックすると、課題が作成され、適切なドキュメントチームに転送されます。

多様性を受け入れるオープンソースの強化

Red Hat では、コード、ドキュメント、Web プロパティにおける配慮に欠ける用語の置き換えに取り組んでいます。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。この取り組みは膨大な作業を要するため、今後の複数のリリースで段階的に用語の置き換えを実施して参ります。詳細は、[Red Hat CTO である Chris Wright のメッセージ](#) を参照してください。

第1章 コンテナの RED HAT BUILD OF OPENJDK アプリケーション

Red Hat build of OpenJDK イメージには、アプリケーション **JAR** ファイルを自動的に検出し、Java を起動するデフォルトの起動スクリプトがあります。スクリプトの動作は環境変数を使用してカスタマイズできます。詳細は、コンテナの **/help.md** を参照してください。

OpenJDK イメージの **/deployments** ディレクトリーの Java アプリケーションは、イメージの読み込み時に実行されます。



注記

Red Hat build of OpenJDK アプリケーションを含むコンテナは、セキュリティー更新では自動的に更新されません。これらのイメージは3か月ごとに1回更新するようにしてください。

アプリケーション **JAR** ファイルはフラット JAR またはシン JAR にすることができます。

- Weak JAR にはすべてのアプリケーションの依存関係が含まれます。
- thin JAR は、アプリケーションの依存関係の一部またはすべてが含まれる他の JAR を参照します。
シン JAR は以下の場合にのみサポートされます。
 - フラットなクラスパスがあります。
 - すべての依存関係は、**/deployments** ディレクトリーにある JAR です。

第2章 コンテナでの RED HAT BUILD OF OPENJDK アプリケーションのデプロイ

Red Hat build of OpenJDK アプリケーションをコンテナにデプロイし、コンテナのロード時に実行することができます。

手順

- アプリケーション **JAR** をイメージ **JAR** ファイルの **/deployments** ディレクトリーにコピーします。
たとえば、以下では、Red Hat build of OpenJDK 21 UBI8 イメージに **testubi.jar** と呼ばれるアプリケーションを追加する簡単な Dockerfile を示しています。

```
FROM registry.access.redhat.com/ubi8/openjdk-17
```

```
COPY target/testubi.jar /deployments/testubi.jar
```

第3章 RED HAT BUILD OF OPENJDK コンテナイメージの更新

Java アプリケーションを使用する Red Hat build of OpenJDK コンテナに最新のセキュリティー更新が含まれるようにするには、コンテナを再ビルドします。

手順

1. Red Hat build of OpenJDK イメージをプルします。
2. Red Hat build of OpenJDK アプリケーションをデプロイします。詳細は、[コンテナへの Red Hat build of OpenJDK アプリケーションのデプロイ](#) を参照してください。
Red Hat build of OpenJDK コンテナと Red Hat build of OpenJDK アプリケーションが更新されました。

関連情報

- 詳細は、[Red Hat OpenJDK コンテナイメージ](#) 参照してください。

改訂日時: 2024-05-10